

学校教育と

地域福祉の融合を



答 有意義であると考え

問 学校教育と地域福祉を融合することによって、重層的支援体制が確立できると考えるが見解を伺う。

教育長 有意義であると考え

問 子どもの多種多様な課題解決に向けて、SSW(スクールソーシャルワーカー)を正規に採用してはどうか。

教育長 SSWの正規採用については、先進自治体等の事例を調査研究していく。現在は、各小中学校に1名の教育相談員を配置している。

問 SSWの職責は何か。

学校教育課長 町内のSSWは1名で、沖縄県より配置されている。学校だけでは対応できない家庭支援等が必要な部分を、先生や教育相談員等と連携しながら家庭の支援に努めている。

問 SSWが単年度雇用だと、家庭の実態を把握するだけで精一杯である。正規雇用することによって、家庭の課題や状況を中・長期的に各機関と連携し、課題解決できるのではないか。

学校教育課長 現在も各機関と連携し、各種委員会が主催となり、サポート会議を開き課



新垣 善之 議員

題解決に向けて取り組んでいる。SSWの正規採用については、調査研究していく。



社協(上)と南風原中学校(下)

地域福祉の向上に向けて

問 CSW(コミュニティ・

ソーシャルワーカー)を正規採用してはどうか。
町長 正規採用については、社協の運営全体を踏まえ検討していく。

問 SSWと同様に、CSWも正規化することによって、地域の課題、ケースワークや会議に諮ることで重層的な支援が展開できるのではないかと、町の人口も増となっている。福祉サービスの向上のために、社協への人的・予算の投入を考えるべきではないか。
民生部長 CSWは、各小中学校区に2名ずつ(計8名)配置している。他市町村に比べ、とても充実している。社協全体の事業運営の中で、必要な予算を確保し、一緒に取り組んでいく。

こんな質問もしました

- 防災計画を着実に実行せよ。
- 社会教育の充実を。
- 財政健全化計画の総括を問う。